

# 墓地に関する市民意識調査

# 富士市にふるまうていせむらかに

日は昇り、日は沈む。

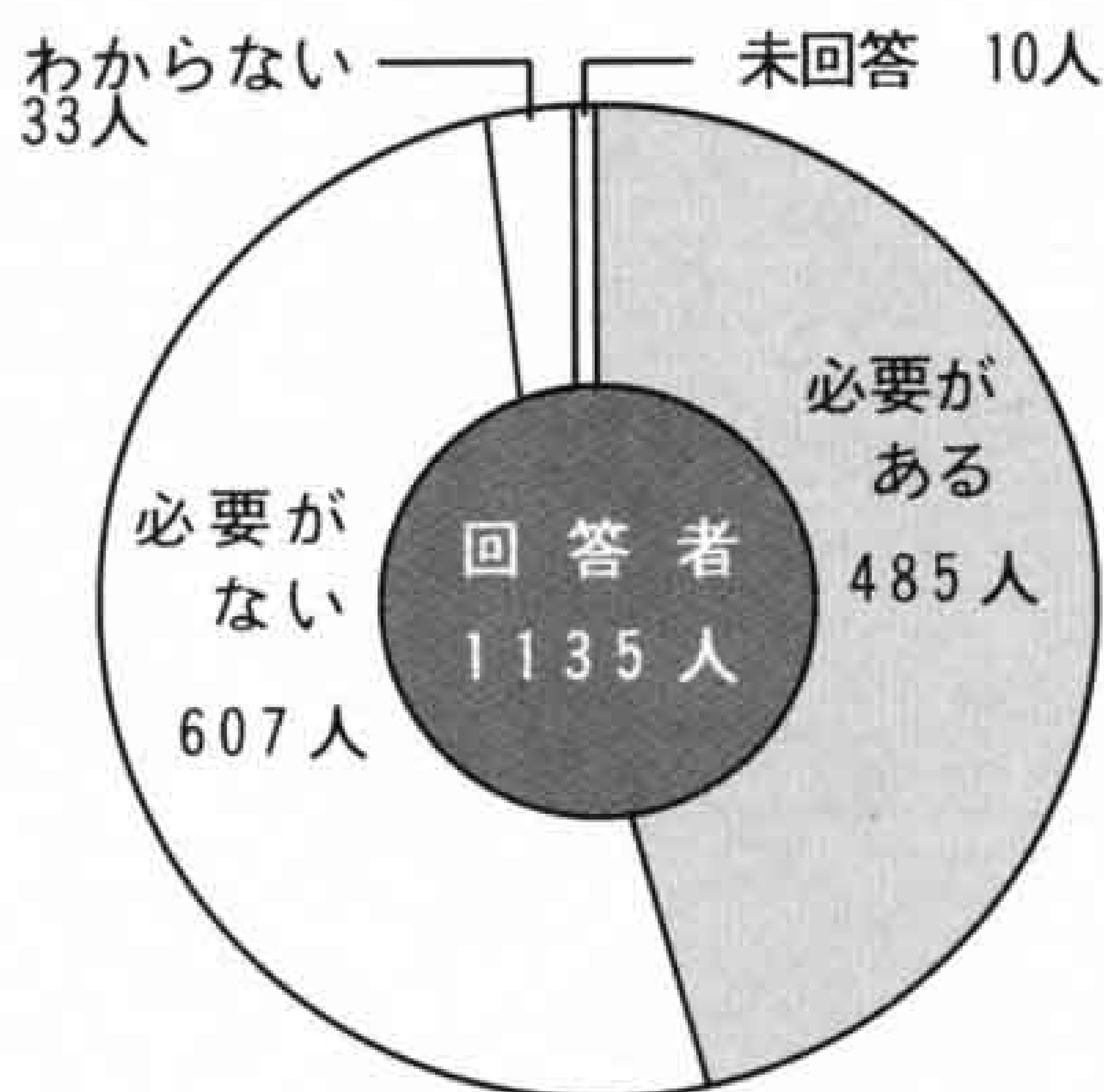
人はだれでも、いつかは土に帰りますが、都市化が進むにつれ、墓地の確保は難しくなりつつあります。

こうした中で、市民の皆さんから墓地の建設を求める声が、市に寄せられています。そこで、市は本年四月、墓地建設に関する市民意識調査を行いました。今回は、その結果をお知らせします。

調査は、住民基本台帳から無作為抽出した三十歳から七十歳までの世帯主男女二千人にお願いし、回収率は五六・八%でした。

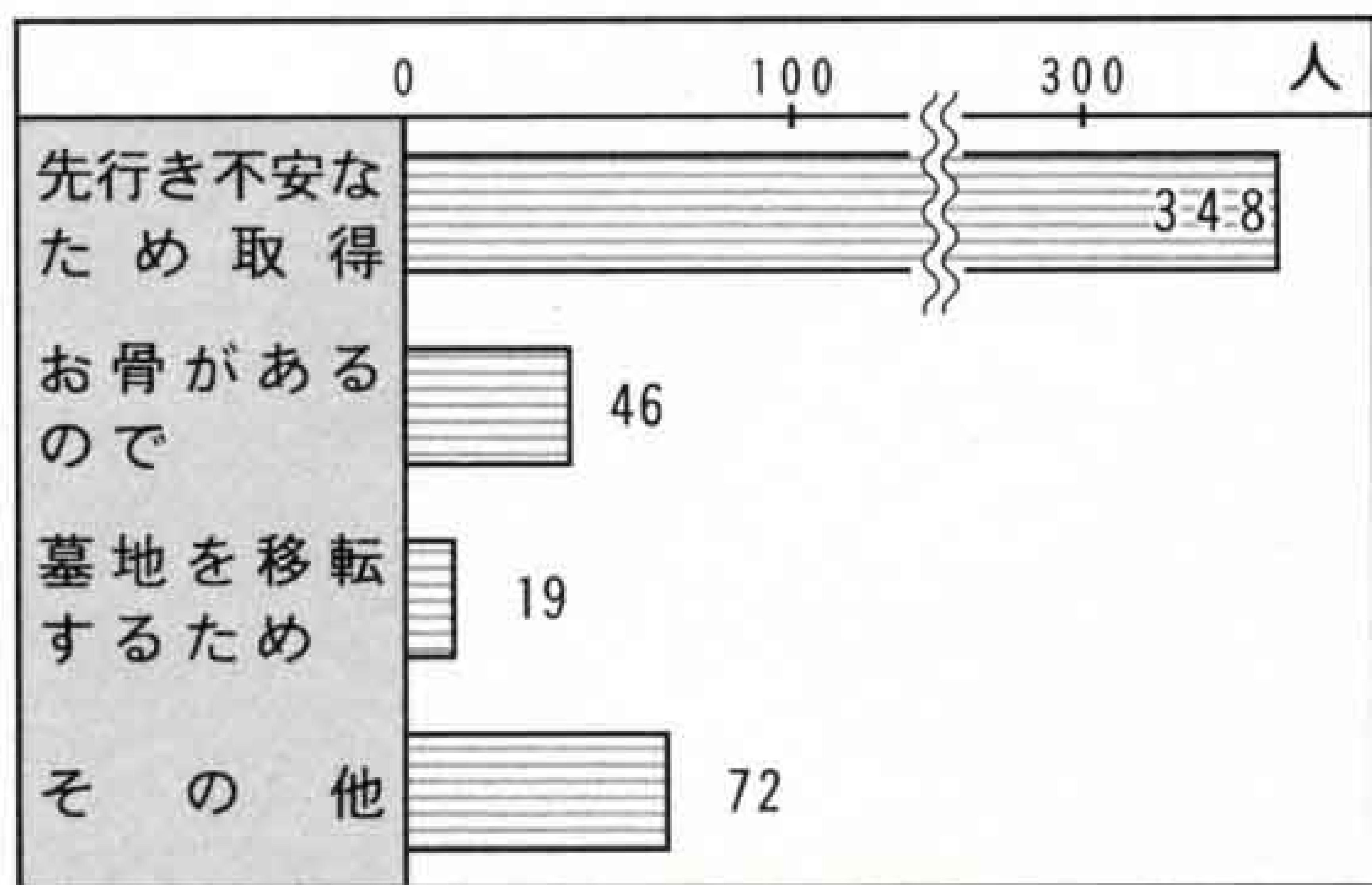
## Q 墓地を取得する必要があるですか

必要があると答えた人は、四百八十五人で、回答者全体の約二分の一弱となっています。必要があると答えた人のうち、三十〜五十歳代の人が概ね八一%を占めました。逆に必要がないと答えた人は、六十代・七十代で高く、これは、既に墓地を取得しているためと思われます。



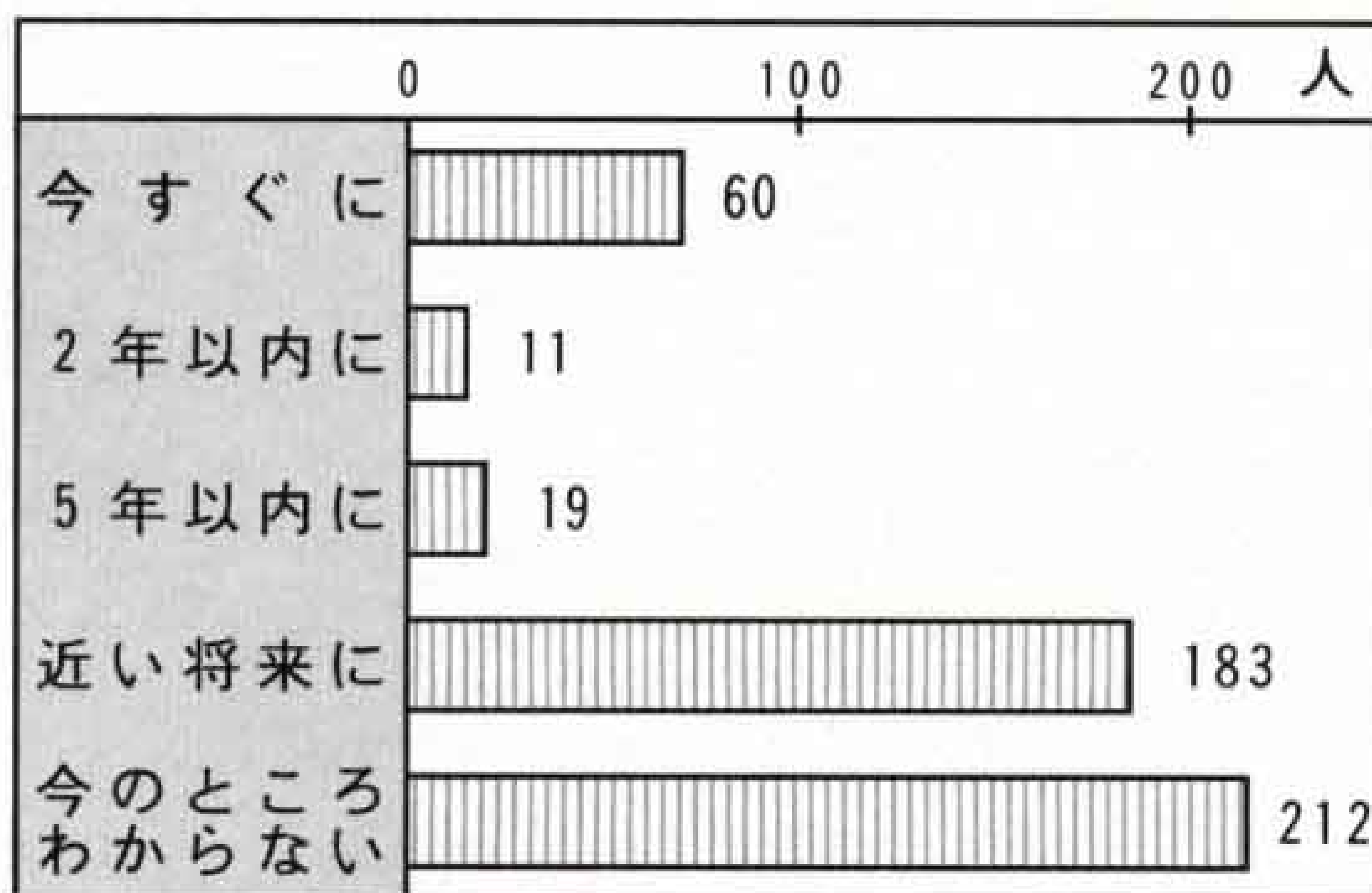
## Q 墓地を取得する必要がある理由は

「今、お骨はないが先行き不安なため、取得しておきたい」と答えた人が三百四十八人で、必要がある人の七二%を占めました。以下、「肉親のお骨があるので取得したい」が四十六人、「市外から墓地を移転するため取得したい」が十九人でした。



## Q 墓地をいつごろ取得する予定ですか

「今すぐ」「二年以内」「五年以内」「近い将来」に取得したいという人は、全体で二百七十三人で、二四%を占めました。これは



「墓地を必要とする」人の五六%が近い将来のうちに取得を望んでいることとなります。

▽富士宮市の朝霧霊園





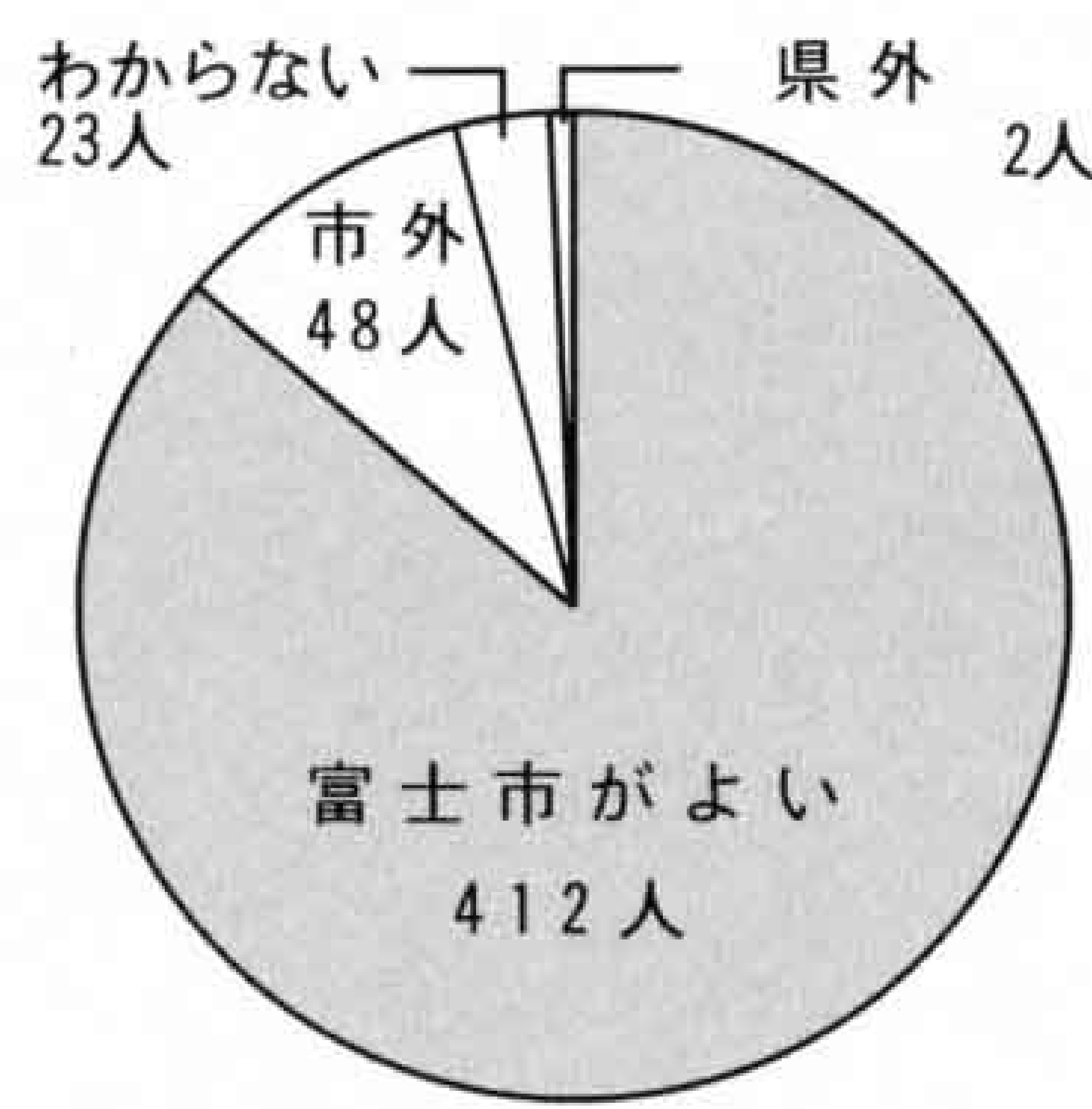
つねじ 高田経嗣さん (百合ヶ丘・61歳)

### 公園風の墓地が できないかな

私は二十三年前に秋田から引っ越してきました。自宅の近くに墓地を求めたいと思っています。お墓はだれでも必要なもの。今はある人でも、子孫の時代には必要になるかもしれません。公営の墓地をつくっていただけたら、とてもありがたいです。そして、墓地というと暗いイメージがありますが、明るく四季の花が咲く公園のようなところにしたらどうでしょうか。

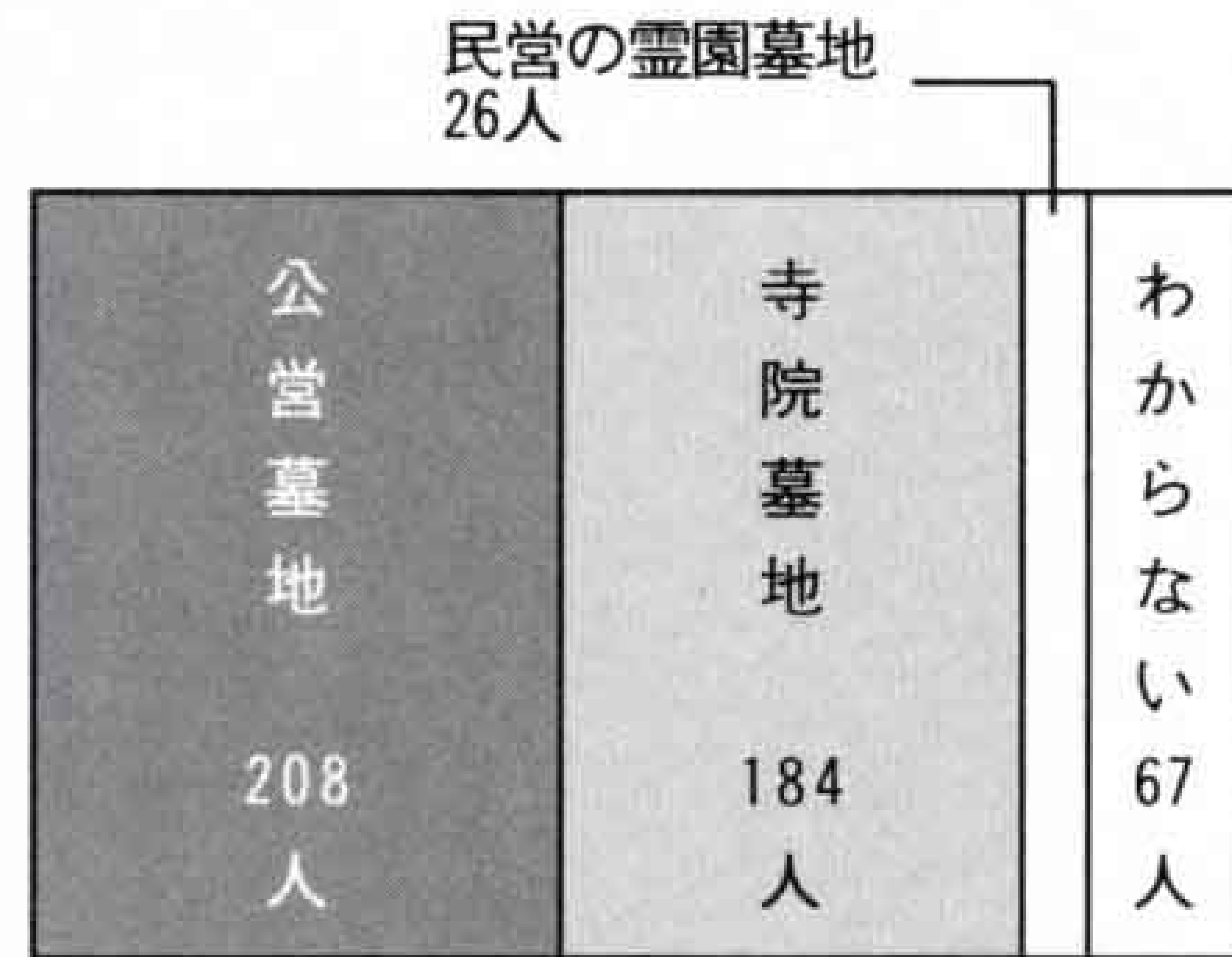
「公営墓地」が二百八人で、約四三%、「寺院墓地」が百八十四人で、約三八%でした。「公営墓

**Q** 取得したいと思う  
墓地の形態は



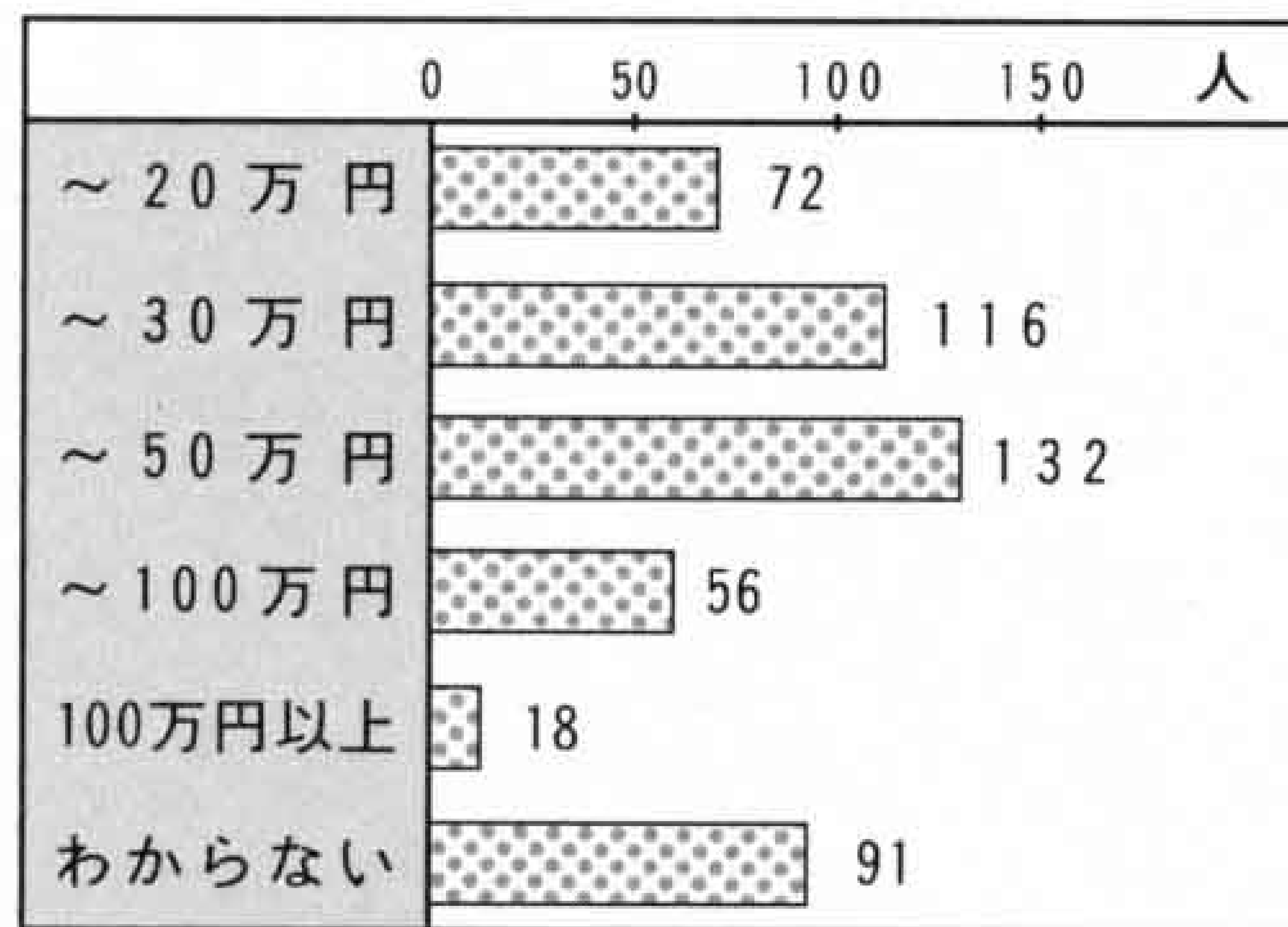
**Q** 取得する場合  
どの地域を望みますか  
「富士市がよい」とする人が、四百十二人で、必要とする人の約八五%を占め、圧倒的でした。

**Q** 墓地はどのような  
環境に



「丘陵地の緑に囲まれた所」を望む人が二百七十七人で、半数以上を占めました。イメージとしては、背景に富士山を仰ぐ丘陵地になるのでしょうか。「寺院の周辺」

地」を望む人が若干上回っています。「民営の霊園墓地」を望む人は、二十六人でした。



**Q** 墓地購入費用は  
どれくらいまで  
とする人も百八十三人おり、約三八%を占めました。

### まとめ 近い将来の 完成を目指す

市内の墓地の現状は、寺院墓地が八十三寺院・約一万九千基、地元の人たちで管理する市有墓地が四十六カ所・約三千基、計二万二千基の墓地があります。これは、各世帯に対する所有基数として、三戸に一基の割合になります。また、寺院墓地の余地面積は、約一万四千七百平方メートルあり、

「五十万円まで」が、百三十二人で一番多く、二七%を占めました。全体的には、「二十万円まで」「三十万円まで」「五十万円まで」で、三分の二を占めました。

### お問い合わせ先

環境衛生課 内線二四三二一へ

これを一基あたり五平方メートル程度とすると、約三千基分の余裕があることとなります。しかし、都市化が進むにつれ、市内の寺院墓地の拡張は難しくなっています。さらに、市民の皆さんから「市営の墓地を」という要望も強くなってきています。こうしたことから、市は市営墓地の建設について庁内に建設検討委員会を設置し、近い将来の完成を目標に作業を進めていきます。なお、建設場所や墓地の規模、永代使用の条件、価格などについては、今回の調査を参考にさせていただきます。調査に御協力くださった皆さんありがとうございます。

